

ハノイ公共交通改善プロジェクト

バス定期券ICカードパイロットプロジェクト



近年、首都ハノイの交通渋滞が、ますます酷くなってきていると感じている方は多いのではないのでしょうか？

交通渋滞は、運転するドライバーのストレスはもちろん、燃料コストの上昇、大気汚染、移動時間の増加、近年増え続ける交通事故など、経済発展の妨げに繋がっています。

このまま人口増加、自動車の普及が進めば、都市部で深刻な交通渋滞が起こることは明白であり、経済の活性化と発展に大きな

障害をもたらすことは容易に予想されます。この問題に対して日本政府はODA(政府開発援助)を通じて、「ハノイ市公共交通改善プロジェクト」に協力をしています。今回はそのプロジェクトの一環である「ICカードパイロットプロジェクト」にスポットをあてて取材しました。

JICA 取材協力・資料提供
JICAベトナム事務所

2年目からはVACへ



代表取締役社長 迫川 敏明

進出一年目は右も左もわからないものです。状況もわかり始めた2年目、本社から管理コスト削減指示があった時は是非、弊社サービスをご検討ください。

管理コスト削減に強～い味方!2年目からの税務・会計は

VAC サイゴン税理士事務所

おかげ様で8周年
(2006年6月25日設立)

弊社ウェブサイトもご覧ください
www.vac-viet.com (ベトナム)
www.vac-gr.com (ミャンマー)

VACサイゴン税理士事務所 (ベトナム)

Resco Bldg., 8F, 94-96, Nguyen Du St., Dist.1, HCMC ☎(84 8) 3822 0337 / 3823 0302
FAX: (84 8) 3822 1161 Eメール: info@vac-viet.com 担当: 山口、谷津、迫川

VACヤンゴン会計事務所 (ミャンマー)

205, 2F, La Pyay Wun Plaza, No(37), Alanpya Pagoda Road, Dagon Township, Yangon, Myanmar
☎(951) 385882 FAX: (951) 385883 Eメール: info@vac-gr.com 担当: 塚本、中根

株式会社VACコンサルティング (日本)

〒110-0016 東京都台東区台東1-36-6 山口ビル2F ☎(03) 3835 1607
FAX: (03) 5807 3463 Eメール: ryamamoto@vac-gr.com 担当: 山本



が、日本にとっても、ベトナムにとっても共にメリットのある支援方法と考えられています。

■ICカードパイロットプロジェクトの概要
ハノイ公共交通改善プロジェクト協力期間:
 2011年7月1日から2015年6月30日

目的:

- 1、ICカードの本格導入に向け、カードの発行、管理、ソフトウェアの開発
- 2、利用者にICカードを利用して頂き、利用者側からの意見をヒアリングする。
- 3、バスを運行する事業者（運転手、車掌を含む）から見た問題点や課題を明らかにする。

本格導入後のメリット:

- 1、キャッシュレス化によるスムーズな乗降と運賃管理、省力化
- 2、多様な運賃体系に対応
- 3、運行の効率化（利用者データを元に効率化を図り安い運賃設定が可能）
- 4、バス路線計画の見直しへの活用（データを活用して、路線再編の検討が可能）

主な活動内容:

- 1、既存定期券をスマートカードに変更



■背景

ベトナム政府は、ハノイ市において急速なモータリゼーションが進む一方で、道路インフラの整備が進まず、市内の各地で深刻な渋滞が発生している現状を鑑みて、2008年に「ハノイ市2020年に向けた交通計画」で都市鉄道(UMRT:日本(1号線、2号線)、フランス(3号線)、中国(2A号線))やバス高速輸送システム(BRT:Bus Rapid Transit)の計画を発表しました。

しかし、ハノイ市ではUMRT建設までにはまだ多くの時間を要するため、その期間の交通渋滞緩和のため、公共バスの利用促進が喫緊の課題となりました。

そこで、ベトナム政府は過去に公共交通管理体制の改善を支援し、実績のある日本政府に対し、本プロジェクトへの支援要請を出しました。その後、2011年2月末にハノイ市側と合意しプロジェクトが開始されました。

なお、日本政府は、ODAの考え方として、相手国の自立発展性を重視するため、単に資金や物を援助するだけではなく、日本の技術・ノウハウを生かし、ハード・ソフト両面で一体的・総合的に協力する「インフラ支援」での協力に力を入れています。これは、単に鉄道やバスなどの施設の建設だけではなく、料金徴収システムやその技術・ノウハウも含めたトータルパッケージとしての協力であり、本プロジェクトの過程を通じて、ベトナムの技術者が専門家としての能力を向上させ、重要な役割を担うようになること

Các sản phẩm chính

- Sơn xe, sơn bóng
- Sơn nhựa
- Sơn công nghiệp (sơn Epoxy, PU, sơn sậy, sơn chịu nhiệt)
- Sơn bảo vệ (sơn sàn, PU, Epoxy)
- Sơn nước
- Chuyên gia sơn công trình

主要取扱商品

- 車用塗料、2Kクリア
- プラスチック用塗料
- 工業用コーティング剤(エポキシコーティング剤、PU、焼付塗料、耐熱塗料)
- 保護コーティング(床用塗料、PU、エポキシ塗料)
- 建築用塗料
- パテ及びその他各種塗料

Main Products

- Auto refinishes, 2K clear
- Plastic paints
- Industrial Coatings (Including Epoxy, PU, Stoving Paints, Heat-Resistant Paints.)
- Protective Coating(Floor Paints, Pu & Epoxy)
- Architectural Coatings
- Painting Project Specialist

亚洲漆

Contact no.: 0912 872923 - Mr.FUMIO MURAYAMA

ASIA PAINT (VIETNAM) CO.,LTD

HEAD OFFICE & FACTORY: Lot 15 - 16, Viet Huong IZ, Thuan An District, Binh Duong Province
 Tel: (84.650) 374 3627 - Fax: (84.650) 374 7698
 Email: sales@asiapaintvietnam.com - Website: www.asiapaintsingapore.com

HCMC BRANCH: 240 Luy Ban Bich Str., Hoa Thanh Ward, Tan Phu Dist., HCMC
 Tel: (08) 6267 2517 Fax: (08) 6267 2518

HANOI BRANCH: 250 Nguyen Van Linh Str, Thach Ban Ward, Long Bien Dist., Hanoi
 Tel: (04) 3874 2292 Fax: (04) 3875 3347

- 2、ICカードを20万枚配布(6番線定期と6番線利用を中心とした全線定期:一般、学生)
- 3、バス26台に車載器を導入
- 4、ICカード発行・更新機器を設置(発行所2カ所、更新所41カ所)
- 5、カードの確認のために必要な機材・システムを6番線で運行するバスに整備
- 6、ICカード導入に係わるソフトウェア開発

関係機関:

<日本側関係企業> 株式会社アルメックVPI、西日本鉄道株式会社、ソニー株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社NTTデータ
 <ベトナム側> {管理}ハノイ市交通局、公共交通管理局
 {運営}ハノイ市バス公社(TRANSERCO)



その後、ハノイ市のイニシアチブにより、他路線への拡大、電子マネーの導入、BRT、都市鉄道など公共交通ネットワーク全体へ普及、他分野(金融、流通・サービス等)のICカードとの統合、ベトナム全土へ相互利用というような展開が期待されています。

10月6日、ICカード導入オープニングセレモニー開催

ハノイ市Giap Batバスターミナルにおいて、ハノイ市バス6番線へのICカード導入を記念してオープニングセレモニーが開催されました。



感想

「ICカードパイロットプロジェクト」は「ハノイ市公共交通改善プロジェクト」の一環で行うものです。将来的には都市鉄道(1号線、2号線など)やバス高速輸送システム(BRT)といった公共交通機関や電子マネーにも応用が可能との事で日本と同じような感覚で公共交通機関を利用しやすくなるのではないかと思います。

また、日本のICカード技術は、世界トップレベルのセキュリティ技術を有しており、その技術・ノウハウについては世界をリードしています。近い将来ベトナムでも本格的なICカードの普及が始まると予想されており、今からしっかりと基礎作りとベトナム人技術者の育成をして、ベトナム社会に合ったシステム・サービスを構築していくことが重要だと感じました。

今後、ベトナムの公共交通機関がより快適になり、利用者が増えることで交通渋滞、交通事故、大気汚染などの緩和に繋がることが期待されます。

今後の展開

ICカードパイロットプロジェクトは、先進国では既に当たり前のように使われている電子マネーを入れる素地作りとしての活動でもあり、まずは、ハノイ市バス6番線にてカードの発行管理、システム運用について検証します。



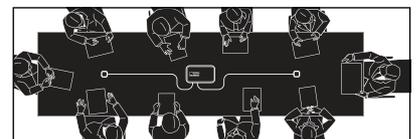
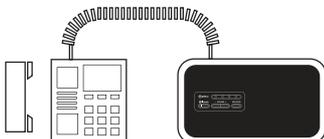
ついにベトナム上陸!
日本で大好評の会議用マイクスピーカー

「いつもの電話で会議する」という発想。
その会議システムを導入するその前に

電話につなぐタイプの新しい会議ツール「R-Talk」が1台あれば、日本とのミーティング、離れた工場との急な打合せもその場ですぐに始められるから、海外拠点の頼もしい味方です。



- 1 いつもの電話やスマホで
いままぐカンタン遠隔会議
- 2 特別な回線や難しい設定いらず
どこでもその場が会議室に
- 3 大勢の声も聞き取りやすく快適で
長時間でもストレス知らず



「どうやって使うの?」まずはお試しを!
▶ E-mail: n_umeda@magx.co.jp

R-Talk お問い合わせ先
MAI INTERNATIONAL ASSOCIATES JSC.
担当: 梅田・Phuc TEL: +84-8-3822-6055 (HCMC)

[製造元] 日本製 / Made in Japan
NTTアドバンステクノロジー株式会社